委員会だより

★地質技術者教育委員会

開催報告 「2024年度　学生のための地質系業界説明会」
～その業界の仕事を知るためのサポートサービス～

地質系業界説明会は，学部生や院生（以下，学生），教職員に，将来の就職先の一つである地質系業界の実態や各社の業務内容などを知っていただくために，毎年の学術大会で開催している行事です．今年度の山形大会では，中日の9月9日（月）に対面説明会，大会後の9月13日（金）にオンライン説明会を開催しました．開催に当たっては，参加企業・団体の動画もしくは静止画による紹介資料を大会HPに掲載し，広く学生に参加企業・団体の仕事内容を広報しました．

1. 参加企業・団体

今年の参加企業・団体数は52で，そのうち24企業・団体が賛助会員であり，今回の地質系業界説明会の参加を契機として4企業・団体が新規に賛助会員として入会してくださった．

52企業・団体のうち35企業・団体が対面説明会，38企業・団体がオンライン説明会に参加され，1社が大会HPへの資料掲載のみであった．（表1）

2. 対面説明会

①開催日時：2024年9月9日（月）12：00～17：00
②開催場所：山形大学小白川キャンパス（山形市小白川町1丁目4-12）基盤教育１号館；123・135・136教室で開催
③参加費：会員・非会員問わず学生の参加は無料
④参加企業・団体数：35社（2023年度 32企業・団体，2022年度 23企業・団体）
⑤参加学生：2024年度；21大学・1高校，66名，延べ160訪問
学生1名当たり2.4企業・団体訪問，1企業・団体当たり4.6名訪問
2023年度；27大学，78名，延べ216訪問
学生1名当たり2.8企業・団体訪問，1企業・団体当たり6.8名訪問
2022年度；20大学，54名，延べ202訪問
学生1名当たり3.7社訪問，1企業・団体当たり8.4名訪問
※毎年継続的に実施している行事のため，学生が訪問したい企業・団体を予め決めて来場されていること，他の一般発表のセッションと同時並行での開催のため，セッションへの参加を優先され，地質系業界説明会に十分な時間的余裕をもって参加される学生が少なくなったことが推測される．

3. オンライン説明会

①開催日時：2024年9月13日（金）13：00～17：00
②開催方法：Zoomを用いたオンライン方式
③参加費：会員・非会員問わず学生の参加は無料
④参加企業・団体数：38社（2023年度 35企業・団体，2022年度 32企業・団体）
⑤参加学生：2024年度；7大学，12名，延べ72訪問
学生1名当たり6.0企業・団体訪問，1企業・団体当たり1.9名訪問
2023年度；15大学，26名，延べ109訪問
学生1名当たり4.2企業・団体訪問，1企業・団体当たり3.1名訪問
2022年度；16大学，41名，延べ198訪問
学生1名当たり4.8社訪問，1企業・団体当たり6.2名訪問
※昨年度と比較して学生の参加者数が半減したため，企業・団体への訪問数が減少した．

4. アンケート結果

アンケートは，対面説明会とオンライン説明会に参加した企業・団体と学生に行った．アンケート結果の詳細については，本報告の後に掲載する．

（1）企業・団体（回答数：対面説明会32個，オンライン説明会30個） 対面説明会については，開催時間は概ね適当であるとの回答が多かったが，ブースや机・背面ボードの広さや運営方法に改善を指摘される回答が半数近くあった．オンライン説明会については，開催時間をはじめ，１コマの時間や運営方法は

表1　参加企業・団体一覧（2024年度）

番号	企業・団体名	会員種別	対面	ｵﾝﾗｲﾝ	HP紹介資料
1	株式会社　アースデザインコンサルタンツ	非会員	○	－	静止画
2	株式会社アーステック東洋	非会員	○	－	静止画
3	株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング	非会員	○	○	動画
4	株式会社INPEX	賛助会員	－	○	動画
5	株式会社エイト日本技術開発	賛助会員	○	－	静止画
6	応用地質株式会社	賛助会員	○	○	動画
7	株式会社奥村組	非会員	○	－	静止画
8	株式会社開発工営社	非会員	○	－	静止画
9	株式会社　開発調査研究所	非会員	○	○	静止画
10	川崎地質株式会社	賛助会員	○	○	静止画
11	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	賛助会員	－	○	動画
12	共立工営　株式会社	賛助会員	－	－	動画
13	クニミネ工業株式会社	非会員	－	○	静止画
14	原子力発電環境整備機構	非会員	－	○	動画
15	株式会社　建設技術研究所	賛助会員	○	○	動画
16	鉱研工業株式会社	非会員	○	○	動画
17	国土防災技術株式会社	非会員	○	－	動画
18	株式会社サクセン	非会員	－	○	動画
19	山陰開発コンサルタント株式会社	賛助会員	－	○	動画
20	産業技術総合研究所	非会員	－	○	静止画
21	三洋テクノマリン株式会社	賛助会員	○	－	動画
22	三和ボーリング株式会社	非会員	○	○	静止画
23	地熱エンジニアリング株式会社	非会員	○	－	静止画
24	シンワ技研コンサルタント株式会社	非会員	－	○	動画
25	住鉱資源開発株式会社	非会員	－	○	静止画
26	住友大阪セメント株式会社	非会員	－	○	動画
27	石油資源開発株式会社	賛助会員	○	－	動画
28	株式会社大建コンサルタント	非会員	－	○	動画
29	大日本ダイヤコンサルタント株式会社	賛助会員	○	○	静止画
30	太平洋セメント株式会社	賛助会員	○	○	動画
31	株式会社髙田地研	非会員	○	－	動画
32	株式会社田中地質コンサルタント	非会員	○	○	静止画
33	株式会社地圏総合コンサルタント	賛助会員	○	○	動画
34	中央開発株式会社	賛助会員	○	○	動画
35	株式会社　中部森林技術コンサルタンツ	賛助会員	○	－	静止画
36	株式会社ドーコン	非会員	－	○	動画
37	飛島建設株式会社	非会員	－	○	動画
38	ドリコ株式会社	非会員	○	○	動画
39	株式会社日さく	賛助会員	○	○	動画
40	日鉄鉱業株式会社	賛助会員	○	○	静止画
41	日特建設株式会社	非会員	○	○	動画
42	日本海洋事業株式会社	賛助会員	○	○	静止画
43	日本工営株式会社	賛助会員	○	○	動画
44	日本工営都市空間株式会社	非会員	－	○	静止画
45	株式会社ニュージェック	賛助会員	○	○	動画
46	ハイテック株式会社	非会員	－	○	動画
47	株式会社パスコ	賛助会員	○	○	静止画
48	株式会社　阪神コンサルタンツ	非会員	○	－	静止画
49	株式会社芙蓉コンサルタント	非会員	－	○	動画
50	明治コンサルタント株式会社	賛助会員	○	○	静止画
51	八千代エンジニヤリング株式会社	賛助会員	○	○	動画
52	山北調査設計株式会社	賛助会員	○	－	動画

写真1　対面説明会の状況
（参照：https://geosociety.jp/engineer/content0076.html）

写真2　オンライン説明会の状況
（参照：https://geosociety.jp/engineer/content0077.html）

概ね適正であったとの回答が多かった．

以上から，開催時の運営方法の改善に課題はあるものの，費用や開催時期等を含めて，来年度の地質系業界説明会への参加希望は高いことが分かり，本企画を継続して開催したい．

ただし，今年度の参加企業・団体のご担当者さまより頂いたご意見は貴重なものが多く，来年度の企画・運営において改善していくことが必要である．そのため，以下には備忘録を兼ねて，頂いた主な意見を整理する．

- 会場について；多くの学生の目に触れるような人通りの多い配置を検討する．
- ブースについて；説明資料・機器が載せられるような広さを確保する．
- 参加学生について；学年は問わず，多くの学生に参加していただけるよう広報する．また，来場予約された学生が計画通りに参加される環境づくりが課題である．
- 企業・団体紹介について；対面説明会では，その開催のはじめに，参加企業・団体を紹介する方法を検討する．
- オンライン説明会について；参加される学生が少ない．

(2) 対面説明会の参加学生（回答数：17個）　対面説明会の学生の満足度は大変満足～満足が約8割を占め，概ね参加された学生にとって有意義な地質系業界説明会となった．開催の広報については，学会メールや大会HPの他，指導教員や当日の掲示物などが挙げられており，多角的な広報に効果があることが分かった．しかし，大会HPに掲載した企業・団体の紹介資料の閲覧は3分の1程度に留まっており，参加される企業・団体を知っていただく方法の検討が必要であることが伺えた．また，学生の得たい情報は，事業・業務内容や仕事に必要なスキルといった学術が関係する事項と，社風や先輩社員の他，異動・転勤や休日などの仕事環境に関する事項の広範な情報を求められている．

その他の自由意見では，短時間で多くの分野の企業・団体を訪問できたことや，少人数で説明や話を聞くことができたことを挙げられた学生が多かった．しかし，ポスター発表のコアタイムと対面説明会の時間が重なって希望した企業・団体を訪問できなかったことや1企業・団体で費やす時間が長く，多くの企業・団体を訪問することができなかったなど，運営上の課題も確認された．なお，将来進む方向として，地質・土木関連企業，研究系および学芸員が9割以上を占めており，専門を生かした就職を検討されていることに率直に敬意を覚えた．

(3) オンライン説明会（回答数：5個）　オンライン説明会に参加された学生のアンケート結果は，回答数は少なかったものの，概ね対面説明会のそれと傾向は同じであった．参加する企業・団体側の雰囲気作りが向上しているためか，学生からは，『質問しやすい雰囲気』『気軽に聞けた』『詳しく説明してくれた』など，好意的な意見を頂いた．また，開催時期については，学校が夏休みや休講中の日時に設定しているものの，改めて，休日もしくは週末の開催を希望する声があった．このような開催日時への強い要望を踏まえて，来年度以降の開催日時を学生が参加しやすい設定となるよう企画したい．

5. 謝辞

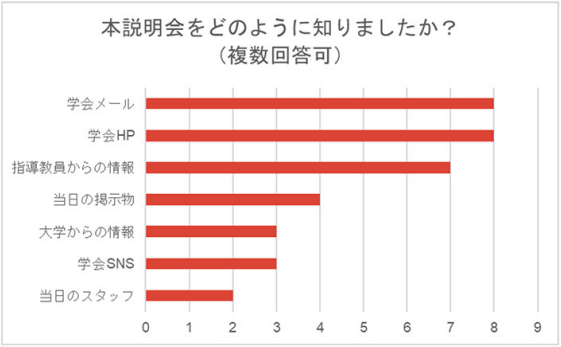
今年度の地質系業界説明会にご参加くださった企業・団体様，特に説明会当日にご対応くださったご担当者様，企業・団体を訪問された学生の皆様，会場の手配と準備にご尽力くださった山形大学LOCの皆様，本説明会の開催に際して色々とお世話になりました行事委員会，広報委員会および学会事務局の皆様，そして学生に開催情報を伝達くださった多くの大学教員の皆様に深く感謝申し上げます．

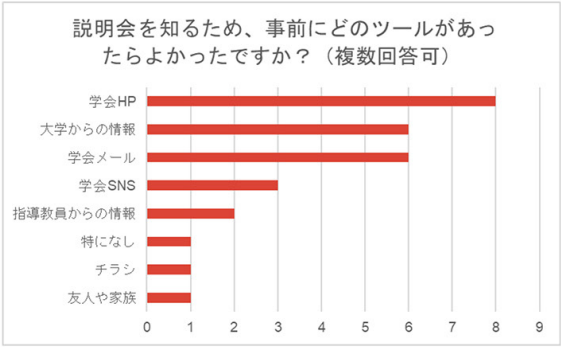
（執行理事・地質技術者教育委員会 副委員長　**加藤猛士**）

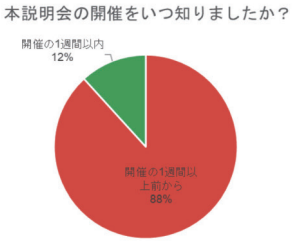
アンケート集計結果

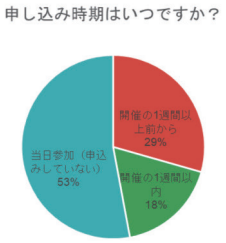
アンケートの回答状況
（対面）学生17件，企業団体32件（オンライン）学生5件，企業団体30件（全体）企業団体45件

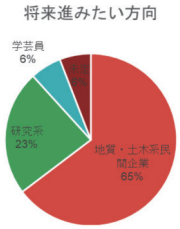
①学生の対面説明会のアンケート結果【対面：学生17件】

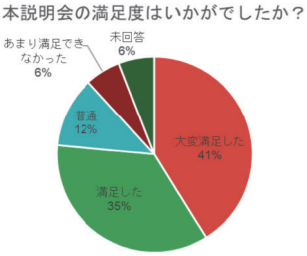


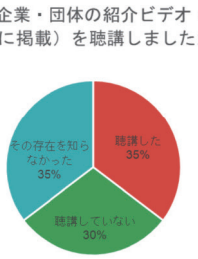


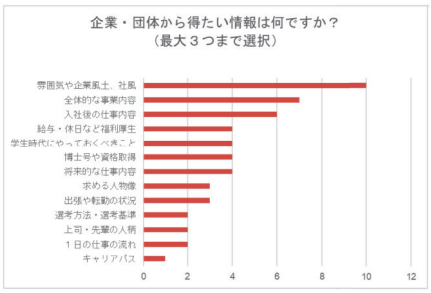






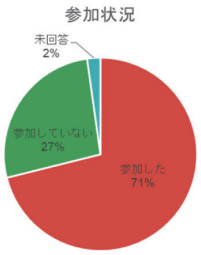




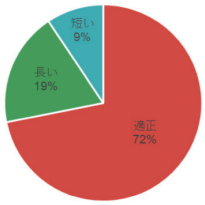


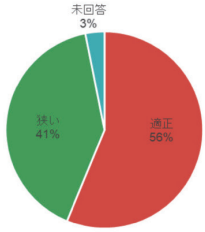
②企業・団体の対面説明会のアンケート結果【対面：企業，団体32件】

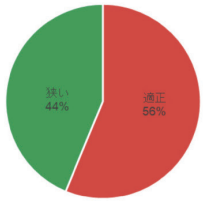
※「参加状況」企業 45 社の回答（母数 45）
32 社が対面説明会に参加

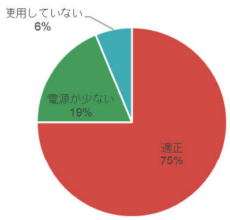


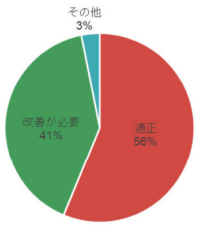
→ 以降は対面参加 32 社の回答



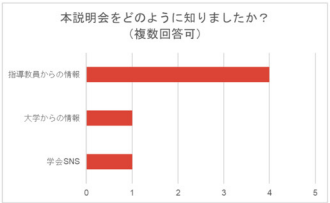


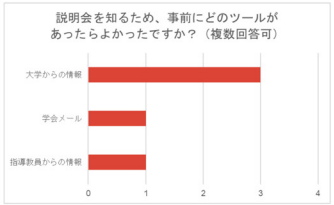




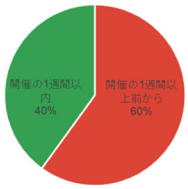


③学生のオンライン説明会のアンケート結果【オンライン：学生5件】

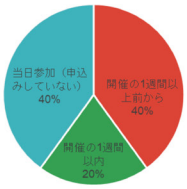


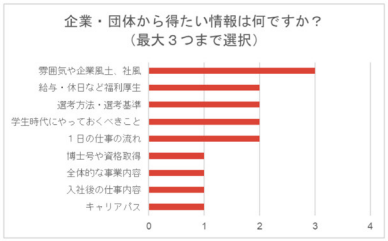


本説明会の開催をいつ知りましたか？

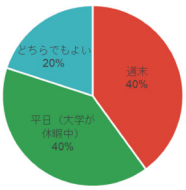


申し込み時期はいつですか？

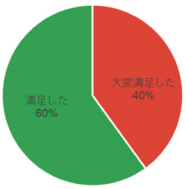




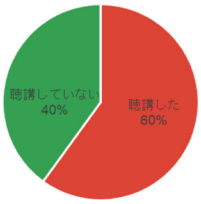
参加しやすい日程はいつですか？



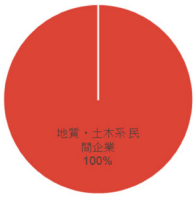
本説明会の満足度はいかがでしたか？



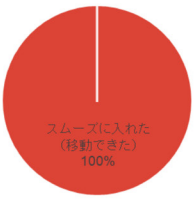
事前に企業・団体の紹介ビデオ・資料（HPに掲載）を聴講しましたか？



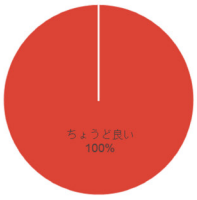
将来進みたい方向



企業ブース（ブレークアウトルーム）へは
スムーズに入れましたか？
また、企業ブース間の移動はスムーズでしたか？



1コマ　30分はどうでしたか？

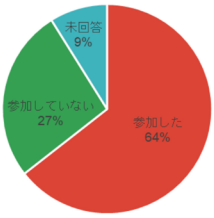


④企業，団体のオンライン説明会のアンケート結果【オンライン：企業，団体30件】

※「参加状況」企業 45 社の回答（母数 45）

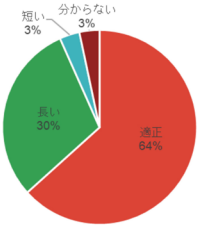
30 社がオンライン説明会に参加

参加状況

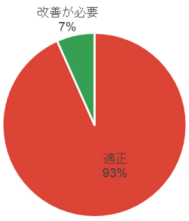


↓以降はオンライン参加 30 社の回答

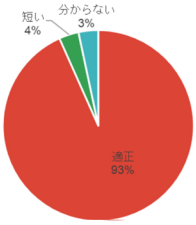
開催時間（13:00～17:00）はどうでしたか？



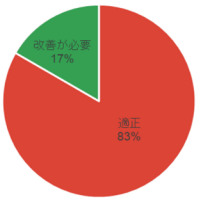
Zoomのブレイクアウトルームの
設定は どうでしたか？



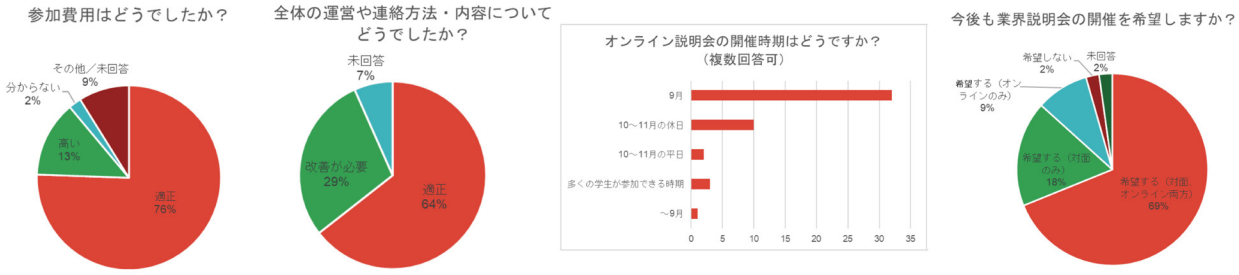
1コマの長さ（30分）は
どうでしたか？



運営方法はどうでしたか？



⑤企業，団体の全体に関するアンケート結果【全体：企業，団体45件】



地質學雑誌

地質学雑誌は，2022年（128巻）からは完全電子化となりました．会員の皆様に，公開されている新しい論文をご紹介します．ぜひJ-STAGE上で本論文を閲覧してください．QRコードからも各原稿にアクセスして頂けます．

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/geosoc/-char/ja

新しい論文が公開されています

レター

鳥取県東部，金峯山の中新統の年代制約：降下火山灰堆積物のジルコンのウラン-鉛年代

羽地俊樹, 仁木創太, 平田岳史

https://doi.org/10.5575/geosoc.2024.0027

We undertook U–Pb zircon dating to constrain the age of the Miocene succession in the Kinbusan area, eastern Tottori Prefecture, Japan. The succession has been correlated with the upper part of the Iwami Formation in the upper part of the Miocene Tottori Group. Recently, a new stratigraphic interpretation was proposed that correlated the succession with the lowermost part of the formation; however, there is no chronological constraint on the depositional age of the succession in the Kinbusan area. We carried out U–Pb analysis of zircons from an ash-fall tuff in the succession to determine the age. The analysis yielded a mean age of 17.92 ± 0.20 Ma (2 σ) from the youngest age cluster. The occurrence of the tuff, the similar optical characteristics of the dated zircons, and the consistent ages indicate the mean age represents the depositional age of the tuff. The result supports the recent stratigraphic interpretation that the Miocene succession in the Kinbusan area is correlated with the lowermost part of the Iwami Formation.

謝辞

本年（2024年1月1日～12月3日），地質学雑誌投稿論文の査読を次の方々にお引き受け頂きました．ここにお名前を記し，厚く御礼申し上げます．

（地質学雑誌編集委員会）

相澤正隆，安藤寿男，吾妻　崇，伴　雅雄，千木良雅弘，藤木利之，羽地俊樹，幡谷竜太，林　広樹，林　成多，林信太郎，平野直人，廣瀬　亘，星　博幸，市山祐司，石崎泰男，伊藤久敏，鹿野和彦，川村喜一郎，川村教一，小松俊文，小松原琢，昆　慶明，公文富士夫，松多信尚，宮下　敦，長橋良隆，中西利典，納谷友規，西本昌司，小田啓邦，岡本　敦，岡本和明，岡崎浩子，大坪　誠，齊藤　哲，先山　徹，里口保文，佐藤比呂志，佐藤活志，佐藤智之，澤井祐紀，新正裕尚，須貝俊彦，鈴木毅彦，田近　淳，竹原真美，田村明弘，常盤哲也，辻森　樹，堤　浩之，堤之恭，辻野　匠，梅田浩司，宇野康司，卜部厚志，和田穣隆，渡邊　了，山田来樹，山路　敦，山本啓司，山本由弦，山崎新太郎，横山由香，湯口貴史，湯川弘一（敬称略，ABC順）